

直木賞ってどんな賞？ 直木賞はこんな賞！

なおきさんじゅうご

正式名称は、「直木三十五賞」。選考は年2回行われます。

大衆文学の一番優秀な作品に贈られる賞で、1人の作家が2回以上受賞することはできません。また、芥川賞のとの重複受賞もできません。

創設時は「新進作家」のための賞でしたが、回を重ねるごとに受賞するのはデビューから何年も経過した中堅作家であることが多くなりました。これは、大衆文学(作品を売ることが大衆小説)を対象とする性質上、選考の際に「これから先もずっと書き続けていけるかどうか」といった要素が重要な選考基準となっているからです。

ですから、始めて候補に選ばれた作品がいかに好評でも「この作者の作品をもう一度読んでみたい」という常

とうく

套句で落とされることがよくあります。

受賞のタイミングが大方の予想から外れてしまうことが多いのも有名な話で、必ずしもその作家の代表作=受賞作とは言い難いのもこの賞の特徴です。

何度も候補に挙げられては落とされ続ける作家が多く、宮部みゆき、東野圭吾、北村薫などは5度落選し6度目で受賞しています。道尾秀介は第140回の初ノミネートから5回連続候補入りし、5回目でようやく受賞という記録を作りました。

最多落選回数は古川薫の9回(『漂泊者のアリア』で10回目にして受賞)です。

受賞者には正賞として懐中時計、副賞として100万円が授与され受賞作は『オール讀物』に掲載されます。

池井戸潤さんが直木賞以外に受賞された賞の紹介

吉川英治文学新人賞

大衆文学の新鋭作家の作品に贈られる賞で、新進作家の「出世作」的な作品に与えられることが多く、直木賞の前に獲っておきたい賞、というポジションにある賞といえます。

ただ、意外にも直木賞との重複受賞者は少なく、第20回(1999年)の山本文緒を最後に直木賞を獲った吉川新人賞受賞者は居ません。

直木賞ほどが話題にはなりません、受賞作はベストセラーになる話題作であることが多いようです。

受賞者には正賞として賞牌、副賞として100万円と置時計が授与されます。

新人賞という名ですが、実態としては中堅の作家が候補者・受賞者の多くを占めます。



(講談社)

江戸川乱歩賞

ミステリの賞。

推理作家の登竜門として、推理小説の賞としてはもっとも有名で、長編小説を公募し、優秀作品に与えられることになっています。

正賞として江戸川乱歩像が、副賞として1000万円が贈呈され、受賞作は講談社から出版され、フジテレビにて単発ドラマ化、あるいは、映画化されます。

ちなみに江戸川乱歩は旧制愛知県立第五中学校(現 瑞陵高等学校)の第1回卒業生で、杉原千畝は第6回の卒業生です。



(講談社)



いかかでしたか。

池井戸潤さんについて、直木賞について少し触れてみました。

詳しく知りたい方は自分で調べてみるとおもしろいですよ。

みなさんは「下町ロケット」もう読まれましたか？

直木賞以外にもいろいろな賞を受賞された作品がありますのでこの機会に読んでみるのもいいと思います。

池井戸潤さん、「下町ロケット」直木賞受賞！
ほんとうにおめでとうございます！！
これからも執筆活動がんばってください。

